

令和5年度 自己評価結果公表シート

日知屋東幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む
○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標
1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。
2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。
3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
4. 安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。
6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	A	ねらいを明確に示し、行事等での具体的な園児の活動を達成目標とすることで、活動が充実してきた。さらに評価を踏まえた活動の精選を図り、活動内容の充実に努めたい。
(2)道徳指導等の充実	A	各行事や遊びを道徳的実践の場としてとらえ、共通理解・共通実践を推進することによって、ねらいの達成を図ってきた。めあてを持って活動する様子が見られるようになってきた。
(3)基本的な生活習慣	A	感謝の言葉が、無意識のうちに園児から発せられるようになってきている。スマートフォン等に於ける家庭での影響が出て来つつあるので、今後保護者対応等も検討することが必要がある。
(4)安心して安全な幼稚園	A	定期的な安全点検（月1回以上）を実施することができ、常時改善・修繕を行った。不適切な保育については、職員への情報提供を行い、遊びの安全配慮と共に、安全意識を高めていきたい。
(5)小学校との連携	B	小学生・園児間の交流活動はできなかったが、情報交換の機会は持つことができた。職員が小学校参観日に参加する機会や幼保小連絡会があり、連携は十分保つことができた。
(6)豊かな交流体験の充実	B	外部講師との交流や派出所や消防署の見学等を実施することができた。過年度に続き、福祉施設の訪問や地域の方々との交流体験は、今後内容を精選しながら継続していきたい。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	めざす幼稚園像・育てたい子ども像の達成をめざしての5年目であった。活動の制限も緩和され、園生活全般・各行事で意識して取り組むことができた。保護者の幼稚園評価の結果でも、AもしくはBの評価が98.7%（昨年度98.2%）であり、保護者からも本園の保育活動について、一定の評価をいただいた。今後は、「進んで挨拶」と「素直」に重点を置いて、活動内容の充実を図りたい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	「遊び」を通じた実践活動の充実に努める。職員のキャリアアップ研修をさらに推進していくことで、保育の充実に努める。
(2)道徳指導等の充実	道徳的実践の場や体験活動の機会を増やし、活動内容を精選し重点をおくことで、道徳的指導の充実に努めていきたい。
(3)基本的な生活習慣	教師間の共通理解と一貫性のある指導の継続により、「進んであいさつ」と「素直な態度」の日常化をさらに図っていきたい。
(4)安心して安全な幼稚園	適切な保育の実践に努める。安全点検並びに保育者の安全意識をさらに高めていく。避難訓練は、マンネリ化を防ぐ工夫をする。
(5)小学校との連携	幼保小連絡協議会の計画実践を基本にし、教師間の相互交流や教育活動の交流の機会を増やすことで、連携を深めていきたい。
(6)豊かな交流体験の充実	ここ3年実施できていない福祉施設との交流や体験活動を推進する。中学生及び高校生、事業所や施設との交流と受け入れを推進する。